

数 学 科 (数 学 II) 学 習 指 導 案					
日 時	平成30年 6 月 7 日 (木) 第 2 限目		指 導 者	田村 洋介	
学 級	普通科 2 年 2 組		教 室	1 2 3 教室	
単 元	第 1 章 複素数と方程式	教 科 書	最新 数学II (数研出版)		
指 導 目 標	複素数と方程式の考えにおける数学的な見方や考え方を身に付けさせ、事象を数学的にとらえ、論理的に考える態度を育てる。また、事象を数学的に考察し、処理の仕方や推論の方法を身に付けさせる。	指 導 計 画	1 複素数・・・・・・・・・・ 2 時間 2 2 次方程式の解と判別・・・・・・・・ 3 時間 3 解と係数の関係・・・・・・・・ 3 時間 (本時はその 1 時間目) 4 剰余の定理と因数分解・・・・・・・・ 2 時間 5 高次方程式の解法・・・・・・・・ 2 時間		
本時の主題	2 次方程式の解と係数の関係				
前時の課題	教科書 p. 42～45 を予習しておく。				
本時の目標	2 次方程式の解と係数にどのような関係があるか理解させ、それを活用する能力を養う。				
指 導 過 程	学 習 活 動	時間 (分)	指 導 上 の 留 意 点	評 価 規 準 ・ 方 法 ・ 資 料 等	
	導 入	本時の学習内容を確認する。	5	・ 2 次方程式の解と係数にどのような関係があるのか、考えさせる。	○プロジェクタ ○プリント
	展 開	1 教科書 p. 43 の例題 4 を解く。	5	・ 2 次方程式の解の公式を使って、自由に解かせる。	【評価規準】 ・ 2 次方程式の解の公式を理解し、それを問題に活用することができるか。 <知識・理解> 【評価方法】 ・ 机間指導により、ノート、取り組む姿勢などを確認する。 ・ 発表をさせ、本時の内容を理解しているか、確認する。 <関心・意欲・態度>
		2 より簡単な方法がないのか、考えるために、解と係数に着目して、考える。 (1) 個人で取り組む。 (2) グループで取り組む。	20	・ 2 次方程式の解と係数の和と積に注目して考えさせる。 ・ グループ学習を通しながら、生徒同士で意見交換させる。	
	閉	3 授業の初めに解いた例題をもう一度解く。	15		・ 解と係数の関係を理解し、それを問題に活用することができる。
整 理	1 本時の学習内容のまとめをする。 2 次時の予告をする。	5	・ 本時の内容を再確認させ、理解度を確認する。		
備 考	普通科 生徒数 37 名 (男子13名、女子24名)				